

脳血管造影検査後の安静臥床時間短縮後の 現状調査についてのお知らせ

脳血管造影検査（CAG）とは、脳の病気の精査や術後の評価として用いられるカテーテル検査のことです。

脳血管造影検査の多くは太腿の付け根にある大腿動脈から穿刺するため、検査の合併症として、穿刺部出血や血腫形成等が挙げられます。また検査を受けられる患者様の多くは抗血小板薬を内服されており、これにより検査後の合併症のリスクが高まります。そのため検査後には必ずベッド上で安静にする時間が必要となります。

当院ではこれまで検査後の安静臥床時間を4時間としていましたが、平成28年度より抗血小板剤2剤まで内服されている方の安静臥床時間を2時間へ短縮し、観察を行ってきました。そこで今回、脳血管造影検査後の安静臥床時間短縮後の現状を調査することになりました。この調査により、今後の看護を行う上で役立てたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2016年5月から2017年12月の間に、抗血小板剤を2剤内服中で、大腿動脈穿刺での脳血管造影検査を受けられた患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、既往歴や採血データ、穿刺部出血の有無などについて統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

総合6階病棟 看護師 松村 みゆき

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000（代）

